

花のチカラ 緑のココロ

2018年 春号

園芸福祉活動の効果を測る

みなさん、お元気ですか？

日本のいろいろな地域で、高齢者福祉分野で、子どもたちと一緒に学校や保育園で、コミュニティ活動で、会社で、被災地の復興支援などで、園芸福祉士の皆さんが活躍されています。今日も「みんなと植物と一緒にしよう」と園芸福祉活動を多様な価値観で楽しんでいます。

さて、今回は“園芸福祉活動の効果を測る”について考えてみましょう。これまでも園芸福祉活動の効果測定は多面的な方法で検討されています。例えば、理学療法的効果測定方法あるいはニコニコマークの数、血圧や自律神経系への測定、認知度測定なら視覚認知メモリーやワーキングメモリの機能など。あるいは、しあわせ度調査、コミュニケーション効果、ストレス軽減効果など、『園芸福祉入門』の農耕・園芸の効用に記載されているとおりです。

さらに、園芸福祉活動のような社会的活動の評価に関して「社会的インパクト」や「社会的価値」の測定に注目が集まっています。

平成 25 年度内閣府の社会意識に関する世論調査では、国民の 65.3%の人が「社会のために役立ちたい」と答えています。東日本大震災後、76.9%の人がなんらかの寄付をしています。

このように、人々の関心が活動の社会的価値評価に集まっています。企業の社会的責任、NPO 活動、社会起業家など組織においても個人においても、社会的課題の解決に園芸福祉活動が注目を集めています。

園芸福祉活動の社会的インパクトを測るには、園芸福祉活動の結果、個人や地域社会にどれほど影響を与え変化をもたらしたかを測定することにあります。例えば、個人のしあわせ度、障がい者の雇用率と質、地域社会の人間関係資本、地域の安全性、生活の質、健康への気づき、郷土愛、花を用いた教育的（花育）効果などの社会的価値です。

企業では投資収益率、公共では費用対便益という形で、投資した貨幣価値に対し貨幣的リターンを投資収益率 ROI (Return on Investment) として評価します。これに加えて社会的投資収益率 SROI (Socially Return on Investment) は、経済価値に加え社会的価値の収益率を評価します。

地域社会で園芸福祉活動を楽しむとき、みんなで絆や時間、思いを投資したその園芸福祉活動の成果を、この社会的投資収益率という概念を取り入れて測ってみませんか？持続可能な活動が活発になると思います。

理事長 吉長 成恭 (よしなが なるゆき)



お知らせ

第 17 回 園芸福祉シンポジウム in おかやま ～人と人がつながる園芸の輪～

2018 年 6 月 9 日 (土) 13:30～ 岡山県岡山市に於いて開催
講演やワークショップ、翌日は見学会もあります。

詳しくは案内チラシをご覧ください。

また、NPO の通常総会を当日同会場で、午前で開催いたします。
正会員の方には、4 月下旬までに総会案内をご送付いたします。

西東京市『植物とのふれあい講座』を終えて

平成 29 年 10 月から 12 月までの毎週月曜日、西東京市住吉老人福祉センターにて『植物とのふれあい講座』（全 10 回）を開催いたしました。今回で 4 期目となったこの講座は、西東京市認知症予防講座として市より委託を受け実施したものです。花や野菜を育てることを通して、五感を刺激し、コミュニケーションを促し、社会とのつながりを深めて認知症の予防につなげ、「いつまでも元気で暮らし続けたい！」という願いを後押ししています。

プログラム

- | | |
|--------|---------------|
| 第 1 回 | ベビー野菜のプランター栽培 |
| 第 2 回 | 草もの盆栽 |
| 第 3 回 | 季節の花の寄せ植え |
| 第 4 回 | ハイドロカルチャー |
| 第 5 回 | ミニ球根の寄せ植え |
| 第 6 回 | お豆のポット苗づくり |
| 第 7 回 | 稲穂とトウガラシの飾り物 |
| 第 8 回 | エアープランツとふれあう |
| 第 9 回 | たまから多肉 |
| 第 10 回 | お正月の置物 |



講師 園芸福祉士 伊藤優里さんより

西東京市の「植物とのふれあい講座」にサポート、講師として 2 期目の参加となりました。講師の方の足を引っ張らないように、未熟な知識で大丈夫かと不安だらけでした。しかし、深く学ばれている講師の方の講座は、まさに、私の学びの場となりました。そして、受講生の方々は植物を愛するたくさんの仲間のように思えました。楽しく、有意義な時間を過ごすチャンスにいただけたことに感謝いたします。

講師 園芸福祉士 吉留ひろ子さんより

西東京市の「植物とのふれあい講座」前回はサポート役として参加し今回は講師を担当させていただきました。参加者の皆さまはお元気で意欲に満ち、作品を作りながら講座で捲いた種が発芽した等、植物についての会話が多くされ緑や笑顔がどんどん広がるのを感じる事ができました。先輩講師の皆さまもとても和やかで、準備段階も含め園芸福祉士として必要な事を多く伝えてくださいました。実り多い機会に感謝しています。

活動プログラムのご紹介

ヒンメリは別名「光のモビール」と呼ばれるフィンランドの伝統的な装飾品です。麦わらに糸を通し、多面体を構成し、それらをつなぎ合わせて吊るします。古くから太陽祭や誕生祭などに用いられてきたとされていますが、現在では結婚式やクリスマスの装飾品などに使われ、幸運のお守りとされています。今回はストローでヒンメリをつくり、エアープランツを飾ります。

ヒンメリで飾るエアープランツ

材 料

ストロー(10~15 cm 12 本)
タコ糸
エアープランツ
シナマイロール

作り方

- 1 タコ糸(ストローの長さ×15)をストロー3 本に通す。タコ糸は 5~6 cm くらい出しておく。
- 2 三角形をつかって、頂点でタコ糸を固結びする。
- 3 残りのタコ糸にストロー2 本を通し、三角形のできる頂点で固結びする。これを4 回繰り返す。
- 4 最後の 1 本をタコ糸に通して、始めに結んだ三角形の頂点と結び合わせる。
- 5 口の空いているところを、別に用意したタコ糸で結ぶ。
- 6 吊り下げ用に長いタコ糸を頂点に結んでヒンメリ完成。
- 7 ヒンメリの空間にシナマイロールを敷き、エアープランツをのせれば完成。

麦わらを
英訳すると
'straw'って
いうんだよ~



昨秋、園芸福祉士に認定された方々をご紹介します



東京都

篠塚 知恵様
張本 住子様

埼玉県

小沢 健司様

栃木県

菅谷 充様

茨城県

荒井 啓子様

北海道

石尾 末治様
宇田 広子様

愛知県

山田 勝也様 入口 久美子様
藤井 貴之様 松尾 緑様
垂見 良重様 古瀬 利枝子様

石川県

犬丸 敏康様

新潟県

加賀 綾子様

神奈川県

田中 玲子様

広島県

河本 大信様
松岡 昇様
山下 千香子様
西田 千鶴様
西田 素子様

島根県

佐和 裕美様

兵庫県

岡野 和枝様

三重県

野呂 かおり様

岐阜県

小川 智子様

この春のおすすめの二冊



オーガニック・ガーデン・ブック
一庭からひろがる暮らし・仕事・自然
曳地義治・曳地トシ著
築地書館 1,800 円+税

プロの植木屋が教える新しい庭の提案。庭は花や緑を愉しむだけでなく、身近に自然を感じられる場所であると共に家族や友人とのコミュニケーションを深めることのできる場でもある。本書では「バリアフリーガーデン」「ファミリーガーデン」「子どもの庭」「自然エネルギーの循環する庭」「菜園のススメ」など、それぞれのライフスタイルにあった庭づくりが提案されている。病虫害にあいにくい植栽、良質な有機堆肥や自然農薬の作り方、体にやさしい虫除けスプレーの作り方、庭の意外な楽しみ方など庭仕事のいろはからオーガニックな暮らし方まで町の植木屋さんのアイデアがいっぱい。この本は岡山県井原市在住の園芸福祉士さんよりご紹介いただきました。



虹色のチョーク
一働く幸せを実現した町工場の軌跡
小松成美著
幻冬舎 1,300 円+税

「彼らこそ、この会社に必要なんです」社員の 7 割が知的障がい者のチョーク工場が、業界トップシェアを成し遂げたその理由とは。家族の宿命と経営者の苦悩、同僚の戸惑いと働く喜びを描いた感動のノンフィクション。昭和 12 年に小さな町工場からスタートしたチョーク製造会社、昭和 35 年に二人の少女を雇い入れたことをきっかけに障がい者雇用に力を注ぎ、「日本でいちばん大切にしたい会社」として今でこそ福祉と経営の両面で注目を浴びるが、ここに辿り着くまでには数々の苦悩と葛藤があった。本書は、経営者、社員、さらには、障がい者の家族へのインタビューを通して、「働く幸せ」を伝える一冊。この本は広島県呉市在住の園芸福祉士さんよりご紹介いただきました。

協会行事カレンダー

4 月 初級園芸福祉士認定試験合格発表
資格更新手続き締切
5 月 初級園芸福祉士資格登録手続き締切
6 月 年間活動アンケート提出締切
総会・シンポジウム
(9 日 於:岡山県岡山市 ピュアリティまきび)

9 月 園芸福祉士認定審査
10 月 園芸福祉士認定者発表
2 月 初級園芸福祉士認定試験
3 月 資格更新手続き開始

詳細や日程については
HP で最新情報をお知らせ
していますのでそちらを
ご確認ください。



コラム 市民農園万国記 ～滞在型市民農園でプチ田舎暮らし～



今から 25 年程前に、兵庫県八千代町（現在合併して多可町内）と長野県四賀村（同松本市内）に、これまでの市民農園の概念と異なる農園が開設されました。後に「日本型クラインガルテン」又は「滞在型市民農園」と呼ばれる、中山間地域の遊休農地に簡易宿泊施設を設けた市民農園で、都市部に住む人が泊まりながら畑仕事や周辺散策、地域行事への参加などを行う施設です。定年後は、自然豊かな農山村でゆっくり暮らしたいとの願いを持つものの、都市の財産を整理して移住するにはリスクも多くためらっていた人達が、身体が元気な間の田舎暮らし先として我先にと申し込まれました。そして、国の事業の後押しもあり、全国の七十数カ所に農園が造られ、延べ千区画も整備されています。

利用者は、年間に 30～50 万円を払い、敷地約 300 m²の区画と 30～40 m²の小舎（電気・ガス・水道・下水完備）を借りて、年間 120～200 日利用している人が一般的です。つまり、一年の半分を都市で、残りの半分以上を田舎で過ごす暮らし方です。一見すると農園付き別荘のようですが、野菜作りが義務づけられていること、地域住民との交流や地域商店からの購買、地域農産物の消費など契約時に地域との関わりを持つことを求める農園が多いようです。実際に利用されている人達も、地域から準町民や準村民的に受け入れてもらうことを楽しんでいる人が多く、各地で農園利用者が移住者になるケースが見受けられています。

このようなタイプの市民農園は、これまでコラムで紹介してきた欧州にはなく、日本独自の利用と運営形態の農園です。一頃のブームも落ち着き、比較的借りやすくなったと聞いています。気に入った農園があれば、プチ田舎暮らしもお薦めします。次号は、日本の市民農園が生まれ、現在に至るまでの裏話をご紹介しますつもりです。（粕谷）

求む！各地・各人の活動情報

地域組織や個人の園芸福祉活動の情報を事務局宛にお送りください。また、下記 mail アドレスにご連絡ください。会報などは PDF ファイルを添付してメールしていただければ皆様に広報させていただきます。

HP アドレス：<http://www.engeifukusi.com/>

mail アドレス：kyoukai@engeifukusi.com

正会員を募集しています

日本園芸福祉普及協会は、NPO 法人です。NPO 法人は、正会員で成り立つ組織です。協会の正会員の内 70% 以上の方は、初級園芸福祉士の資格を取られた後に正会員になられた方達です。多くの方に正会員になっていただき、協会運営にお力添えをお願いいたします。

おすすめの一冊

ただ今、会報で紹介させていただくおすすめの本を募集しています。みなさんのおすすめの一冊をぜひお知らせください。ただし、園芸福祉に関連する、あるいは関連すると思われる本に限らせていただきます。お待ちしております！！

編集後記

昨年 7 月、55 周年を迎えたフラワーセンター大船植物園。今年の 3 月まで一時閉園し、しゃくやく園の拡張、玉縄桜広場の新設、バリアフリー化など大規模な改修工事が行われました。そして 4 月 1 日にリニューアルオープン！愛称は「日比谷花壇大船フラワーセンター」どのくらい魅力的に生まれ変わったのか今から楽しみです。新しくなった植物園に出かけてみてはいかがでしょうか。（今井）

NPO 法人日本園芸福祉普及協会

〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 58

TEL:03-3266-0666 FAX:03-3266-0667